

本町は、広大な十勝平野の北部、大雪山国立公園の東山麓に位置し、総面積259.13km²のうち約21%が森林である。先人たちが幾多の山火事からまもり育ててきた東ヌプカウシヌプリ、その山麓に広がる士幌高原を有し、音更川、士幌川、居辺川が緑豊かな大地を流れている。この自然環境を次世代に引き継ぐために、平成19年3月に「士幌町環境基本条例」を制定し、条例で定めた基本理念を実現するために、平成21年3月に「士幌町環境基本計画」を策定した。また、さらに環境に対する取り組みをより積極的に発展させていくことを目的とした、「士幌町環境宣言」を策定した。町の貴重な財産である町有林で適時適切な間伐を実施し、本制度に取り組むことで、森林の公益的機能の維持・増進、地域林業の活性化、地球温暖化対策への貢献、次代を担う子どもたちへの豊かな自然環境の引継ぎ等を図るものとする。



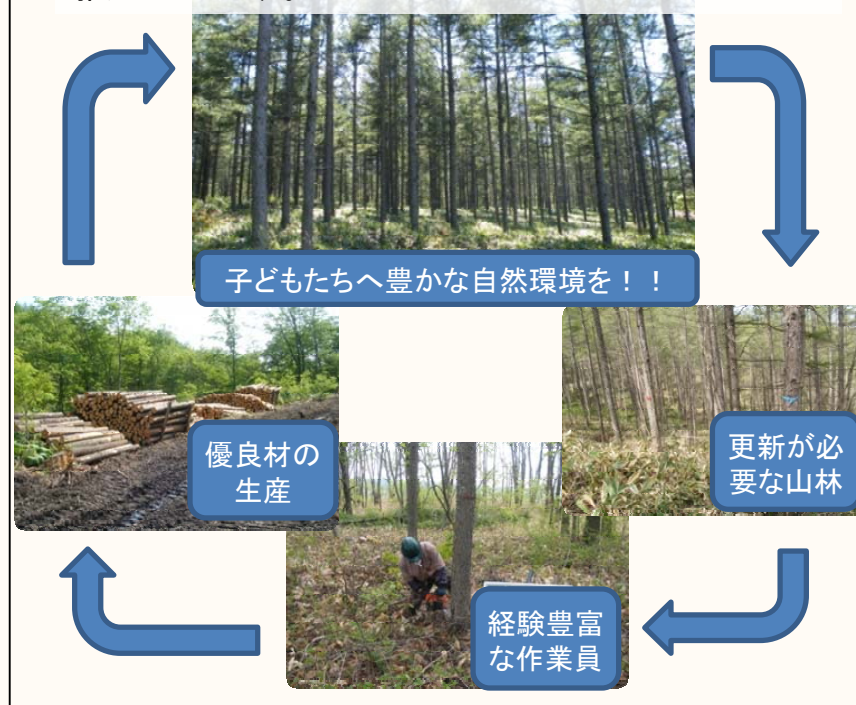
プロジェクトの実施場所	北海道河東郡士幌町
吸収量(予測)	1,397 t-CO ₂ (発行済) (内バッファ分 41 t-CO ₂)
在庫量	500 t-CO ₂ (2012年4月時点)
クレジットの次回発行予定	—
1t-CO ₂ あたりの希望単価	¥5,000 ~ ¥10,000

北海道十勝は、日本でも有数のカラマツ生産地であり、とりわけ士幌町においても、人工林の約9割をカラマツが占めています。

町の貴重な財産であるカラマツを、地域の計画に即して継続的に間伐等を実施することは、「森林の公益的機能の維持・増進」、「地球温暖化防止の対策」、「次代を担う子どもたちへの豊かな自然環境の引継ぎ」に貢献しています。

その間伐によるCO₂吸収量をオフセットに利用いただければ、CSR、企業イメージの向上に役立てていただけるものと自負しております。

次のサイクルを徹底することにより、豊かな森林づくりを推進しています。



■担当者連絡先
産業振興課 産業振興G
TEL: 01564-5-5213
EMAIL: sansingroup1@shihoro.jp